

# 感染症 ひとくち情報

## 風しんに注意しましょう!



2018年4月20日

東京都健康安全研究センター

### 1. 風しんとは

風しんは、風しんウイルスの感染によって起こる感染症です。ウイルス感染後、2週間から3週間の潜伏期間の後、発疹、発熱、リンパ節の腫れが認められます。免疫を持たない場合は、大人でも感染・発病します。

また、妊娠初期に感染すると胎児に感染し、赤ちゃんが白内障や難聴、先天性心疾患を特徴とする先天性風しん症候群を発症する可能性が高くなります。

風しんは特異的な治療法は無く、対象療法が中心となります。



### 2. 発生状況

風しんは定期予防接種導入前には、春先から初夏に流行がありました。昨年は海外で感染し都内で発症した例が2件ありましたが、都内では現在、流行はありません。

都内流行状況 URL : <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/diseases/rubella/rubella/>

### 3. 予防について

風しんウイルスは飛沫感染します。予防にはワクチンが有効です。



### 4. ワクチン接種について

定期予防接種	定期外予防接種
原則的に麻しん・風しん混合ワクチン(MRワクチン)を1期2期の期間において2回接種。	任意接種として麻しん・風しん混合ワクチン(MRワクチン)、風しんワクチンの接種が可能。
定期予防接種対象者	定期外予防接種対象者
1期：1歳以上2歳未満 2期：5歳から7歳未満で小学校就学前1年間	定期予防接種の期間にない人で風しん罹患歴、ワクチン接種歴が1回も無い人

※ MR ワクチン 風しんワクチン共に妊娠中の方は接種できません。また、接種後2カ月程度は妊娠を避けることなどの注意が必要です。

※ 上記対象者以外の方で接種を希望される方はかかりつけ医とご相談ください。

### 5. 医療機関で受診の際には

風しん患者と接触した後に発熱や発しん、リンパ節の腫れなどの症状が出て、風しんが疑われる場合は、事前に医療機関にそのことを電話連絡してから受診してください。

東京都感染症情報センターの「風しん (Rubella)」のページもご参照ください。

風しん 東京都

検索

